

自然教育・野外教育推進事業

【教学指導課】

1 必要性・独自性 【基本方針活用事業より】

- ・本県の強みである豊かな自然の特性を生かし、子どもたちの「自然を通して生き抜く力」「自然を大切にする心」を育むため、県内の自然教育、野外教育における本県ならではのプログラムの研究・開発及び普及とそれを実践できる人材育成が必要。

2 目指す成果・成果目標 【基本方針活用事業より】

- ・モデル的に自然教育プログラムを実施する学校30校／5年間
(小学校、中学校、高校から10校ずつモデル的に選定)

【取組により期待される効果】

- ・自然体験を取り入れた学びの広がり
- ・外部指導者と学校の更なる連携強化
- ・学校教育における学校林利活用の促進

3 事業の概要

- ・県教育委員会の作成した「自然教育・野外教育プログラム」を実施するモデル校を毎年8校程度ずつ募り、その実践からフィードバックを得てプログラムの効果の検証、プログラムの修正等を行う。
- ・モデル校でプログラムを実施する外部指導者の派遣に係る費用を支援する。
- ・モデル校の取組事例を発信し、自然体験を取り入れた学びを広げる。
- ・学校が外部指導者と連携をし、自然体験を取り入れた学びを充実させていく仕組みづくりを進める。

予算額:千円

事業内容	事業主体	H31年度 事業計画		補助率	予算額
・プログラム実践(モデル校へのプログラム指導者の派遣) ・プログラムの評価・検証・改善 ・外部指導者リストの作成	県教育委員会	モデル校における実践	8校	-	1,163

4 見える化に向けた取組、取組の継続性、他地域への波及効果等

- ・モデル校の取組事例を発信し、自然体験を取り入れた学びを広げる。
- ・「自然教育・野外教育プログラム」をまとめたプログラム集を公開する。

【参考】 事業イメージ

